

令和5年度第3回 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和5年12月27日（水）10時～11時30分

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 （敬称略・区分別五十音順）

区分	氏名	所属・役職等
学識経験者	和泉 大樹	阪南大学 国際観光学部 教授
学識経験者 （座長）	関川 華	近畿大学 建築学部建築学科 准教授
市民団体	真銅 善夫	羽曳野市連合区長会 会長
市民団体	原 誠	羽曳野市商工会 会長
議会	百谷 孝浩	羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長

4. 欠席者 音川 佳世（羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長）

5. 傍聴者 1名

6. 資 料 ・資料1 羽曳野市本庁舎建替整備基本計画（案）
・資料2 市民ワークショップ報告書
・資料3 分科会における検討について

7. 事務局 ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
（・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社）

8. 内 容

1. 開会

■事務局より開会の挨拶。

2. 事務局挨拶

■筒井室長より挨拶。

- ・おはようございます。本日は年末のお忙しい中、第3回意見聴取会にご出席いただきまして、厚く御礼申し上げます。現在、庁舎整備推進室では基本計画を策定中であり、今回は第4章、第5章の市庁舎の施設計画、事業の進め方につきまして、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。また基本計画に先行いたしまして、1月に公表予定の基本設計者選定に係る公募型プロポーザルの実施に向けてサウンディング調査を実施し、募集要項の作成を進めているところであります。
- ・本日は庁舎整備事業の根幹となる部分でありますことから、色々なご意見をいただきたいと思っておりますので、皆様をお願いして、ご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3. 次第1

■次第1「羽曳野市本庁舎建替整備基本計画について」、事務局より説明。

- ・資料1「羽曳野市本庁舎建替整備基本計画（案）」に沿って説明。

4. 質疑応答

◆和泉委員

- ・P.24の文化財の保護と活用はアカデミックな観点からいうと、保護の中に活用が含まれています。そのため、文化財の保存と活用となります。

■事務局

- ・修正させていただきます。

◆和泉委員

- ・P.25の歴史遺産と歴史資産が混在しているので、統一してはいかがでしょうか。

■事務局

- ・統一する方向で整理いたします。

◆和泉委員

- ・P.35の図について、市民ファーストではあるが、世界遺産VIEWのところに来訪者と市民の交流の観点から、世界遺産を観光に来られた来訪者が必ず立ち寄るような施設となることも考えるべきではないでしょうか。

■事務局

- ・今後、市民が市役所にはあまり来なくてよいシステムに代わると想定しております。その点では観光などの来訪者が多くなると考えられ、そちらにも配慮した施設としても考えさせていただきます。

◆和泉委員

- ・P.40の古墳との関係性への配慮について、ここから古墳が見えるというサインに合わせてQRコードが付いていて、情報が読み取れるような計画があれば、世界遺産に配慮されていることの説明がつくのではないのでしょうか。

■事務局

- ・サイン計画はオフィス環境整備や基本設計の中でも検討していきたいと考えております。

◆関川委員

- ・通信機器室自体は令和10年まで別館に置く必要があるという説明がありました。新庁舎には災害時に対応する部署が入ると思いますが、ゾーニングとして一体的にある方が非常時には重要です。建築計画の中で5年後、10年後の災害も想定し

ながら、現状をどう変えていくかを設計者のプロポーザルの中でも聞いていただくのがよいと思います。

■事務局

- ・通信機器室に関しては令和10年まで動かさないとはいえ、いつ災害が起きるかわかりません。本来、新庁舎（本館）に危機管理が来るとするのがベストな状態ですが、別館にある機能と本館にある機能を連携させることで、対応していきたいと思っております。例えば特別会議室は本館に作り、本館と別館をワンフロアの形とすることで人の行き来は問題ないと考えます。また、情報通信のネットワークを結んで本館と別館で連携を取っていきたいと考えています。機器の更新が当然出てきますので、本館にもそのスペースを作って、順次移動させながら、防災的な機能はきちんとしていきたいと思っております。

◆関川委員

- ・保健センターを計画から外し、面積とコストが抑えられたという話がありました。当初は基本構想段階に保健センターを入れた理由があると思います。今後も保健機能については非常に重要で、将来的な構想をどのように可変性を持たせて計画していくかを、設計者のプロポーザルでも聞いていただくことがよいと思います。また、これからDX化も進み、デジタルネイティブの人口も増えていきます。10年後、20年後どうあるべきかを含めた計画にしていかれるのがよいと思います。

■事務局

- ・保健センターに関しては複合化も含めて考えていましたが、市役所は診療まで行う場所ではないので、既存の保健センターはそのまま生かし、本館や別館では会議室で保健関係の会議などで利用されることで、より有効に使っていただく形で対応させていただきたいと考えております。当然、今後10年後、20年後は、ライフスタイルも変わりますし、計画の中にも今後盛り込めればよいと思っております。

◆百谷委員

- ・市議会の方から奈良県に視察に行き、各党派の方から意見と要望という形で集め、まとめさせていただきました。事務局にお渡ししたいと思っております。庁舎全体に関する事、議会全般に関する事がありますので、できる範囲、反映いただければと思っております。事務局も視察に行かれたとのことで、市民ファーストで、世界遺産のある街としてよい計画となればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

■事務局

- ・議会からのご意見としてはお受け取りさせていただき、今後、公共施設特別委員会がありますので、そちらの方でまたご意見を伺い、基本計画の策定に繋げていきたいと思っております。

5. 休憩

6. 次第2

■次第2「基本計画策定に関する取組状況」について、事務局より説明。

- ・資料2「市民ワークショップ報告書」、資料3「分科会における検討について」に沿って説明。

7. 質疑応答

◆真銅委員

- ・これからもこの市民ワークショップは繰り返し行う予定ですか。

■事務局

- ・どういう形で開催するかは今後検討していきたいと思っております。ワークショップとするのか、講演会にするか、市民の方が関心を持っていただけるようなテーマで何か開催を予定したいと考えております。

◆和泉委員

- ・これらワークショップは実施して完結という形でしょうか。実施したものを庁舎のロビーに張り出すなど、今回たくさんの意見をいただいたようなので多くの人に見ていただければよいと思います。

■事務局

- ・市役所を知っていただくことが趣旨であり、基本計画の資料編とするなど公表を考えていきます。

◆関川委員

- ・1月に開催されたシンポジウムは、ワークショップと関係付けたものでしたか。

■事務局

- ・シンポジウムは新庁舎を整備するという市民の皆さんへのお知らせと、今後どうしていけばよいかをこちらからご説明したもので、ワークショップは市民参加型で、関心のある方と一緒に考える機会としてそれぞれ実施したものです。

◆関川委員

- ・ワークショップの参加者は意見を言ったことをずっと覚えていて、意見をどのように処理するかが重要で、ワークショップは今後も開かれる方がよいと私も思います。開催形式も色々試しながら継続的に、例えば意見をビジュアル化したものを掲示して、よいと思うものにシールを貼ってもらうとか、市役所を訪れた方に意見を聞くなどされながら、市民を徐々に巻き込んで進められるのがよいと思います。

■事務局

- ・ワークショップで市民の方に事業を知っていただいたり、ここにこういうものを作ってほしいなど、具体的な意見も出てくると思うので、今後もワークショップ等の開催を含めて検討していきたいと思っております。

◆原委員

- ・みんなで意見を出して作っていくようなアイデア満載の新庁舎を目指したいと思っています。ワークショップは参加人数に限られますので、ご意見箱などをわかりやすいところに設け、誰でも意見できるようにするなどぜひご検討いただきたいと思います。

■事務局

- ・パブリックコメントは行いますが、もっと気軽に意見できるアンケートボックスなども含めて検討させていただきたいと思っております。

8. 次第2

■次第2「今後のスケジュール」について、事務局より説明。

- ・スクリーン投影資料により説明。

9. 質疑応答

◆特になし

10. 次第3

■次第3「その他」について、事務局より説明。

- ・次回の意見聴取会開催についての連絡。

11. 質疑応答

◆特になし

12. 閉会

◆座長より進行を事務局に返却。